

# 愛知大学 3つのポリシー（2024年度以降）

## ■大学院 中国研究科 中国研究専攻

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）
<p><b>【修士課程】</b> 中国研究科（修士課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。</p>
<p><b>（教育内容）</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 人文・社会両系統を総合化する能力を身につけかつ中華世界を総体的に理解し考察する基礎的な能力を育成するために、「中国学総論a・b」・「中国研究方法論a・b」を1年次に選択必修科目として配置する。</li><li>2. 各自の専攻分野に応じ、また、専攻分野に偏ることなく、中国研究に関して広い視野を持てるよう、都合32単位を履修するための人文・社会系統の様々な分野の科目を配置する。</li><li>3. 修士論文の作成について必要な知識や技能を修得できるように「演習」8単位を配置する。</li><li>4. 現地に赴いて研究対象の調査、客観的な情報収集を行うために「フィールドワーク方法論a・b」、「フィールドワークa・b」8単位を配置する。</li><li>5. 2年次において修士学位論文を執筆する。</li><li>6. 中国人民大学、南開大学との間でデュアルディグリー・プログラム実施されており、1年間の中国留学で留学先大学の所定の科目履修及び留学先大学の指導教授からの研究指導を受け、両大学における必要な単位修得および学位論文と最終試験を経ることにより、日中双方の学位を取得できる。</li></ol>
<p><b>（教育方法）</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 講義科目では、学生が主体的に研究に取り組むため、発表とディスカッションを活用する。</li><li>2. 演習科目では、研究指導や論文指導を行なう。論文指導は必要に応じて複数の教員によって行なう。</li></ol>
<p><b>（学修成果の評価）</b> 中国研究科（修士課程）では、本学における学修成果の評価方針（アセスメントポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 教育課程（メゾ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、留年率、卒業研究（修士論文・博士論文）の成果評価割合等により行います。</li><li>2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布により行います。</li></ol>
<p><b>【博士後期課程】</b> 中国研究科（博士後期課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。</p>
<p><b>（教育内容）</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 専門分野に偏ることなく、中国研究に関して広い視野を持てるよう人文・社会系統の様々な分野の科目を配置する。</li><li>2. 博士論文執筆のための研究・論文指導を行う。</li><li>3. 中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間でデュアルディグリー・プログラム実施されており、所定の留学、単位修得および学位論文と最終試験を経ることにより、日中双方の学位を取得できる。</li></ol>
<p><b>（教育方法）</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 講義科目では、活発な議論を通じて高度な専門性と主体性の向上に努める。</li><li>2. 演習科目では、博士学位論文作成のための基本を示す。</li><li>3. 論文指導は必要に応じて複数の教員によって行われる。</li></ol>
<p><b>（学修成果の評価）</b> 中国研究科（博士後期課程）では、本学における学修成果の評価方針（アセスメントポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 教育課程（メゾ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、留年率、卒業論文・卒業研究（修士論文・博士論文）の成果評価割合等により行います。</li><li>2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行います。</li></ol>